

外貨で支払いOK

マネパの外貨引き受けサービス

導入。運用コストゼロで訪日客対策を

外国為替証拠金(FX)取引大手のマネパパートナーズ(東京都港区)は、地域ぐるみでのインバウンド対策の一環として、同社が提供する「外貨引き受けサービス」の導入を勧めている。外国人観光客が直接外貨(米ドル・ユーロ)で商品・サービスを購入できるサービス。導入店舗は「導入・運用費用0円」で、店舗側のコスト負担がないことが最大の特長だ。すでに東京・浅草全域でサービスが提供されている。浅草での同サービスの現状について、商店街の関係者に聞いた。

「外国人客重視」アピール

浅草商店連合会 白倉 儀輝氏



浅草地区71商店街で構成する協同組合浅草商店連合会。導入当初(2014年6月)は、土産店など3店舗のみでスタートしたが、現在は106店舗(2月24日現在)にまで拡大した。導入推進の先頭に立ってきたのは、白倉儀輝理事・カード委員会委員長(右)だ。

導入の理由について、白倉さんは「外貨が使える商店街は『外国人客を意識した商店街です』とPRする手段にしたかった」と語る。各地の観光地は競って外国人客の誘致に力を入れているが、「浅草は特に外国人客を重視している」とPRすることで、さらなる誘客を図る狙いがある。

導入前は、外国人が店の前で



①浅草のシンボル「雷門」。写真撮影のために集まる外国人観光客で平日も混雑する②土産店「浅草港屋」

きたという。

さらに、店舗側の意識も変わってきたと白倉さんは語る。

「導入当初は、外国人客の重要性がまだ浸透していなかった。各店舗への粘り強い勧誘で徐々に導入店舗が増え、それが地域全体の活性化につながり、さらに導入店舗が増えた」

好循環が続く、100店舗を超えるサービス導入につながった。

外国人は、浅草で外貨が使えることをSNSで拡散する。それが、浅草に来たことがない外国人への絶大なPR効果となり、新たな来店につながっているという。現状では、外国人客は同サービスよりも使い慣れた

クレジットカード利用を選択するケースが多いが、サービス導入で「浅草は外貨が使える」との事実が海を渡り拡散すること

で、狙い通り「浅草は外国人が過ごしやすい」というPR効果が高まっている。白倉さんは「われわれがカードによる観光振興の取り組みに意欲を示している。」

決済手段増えて客も満足

土産店・浅草港屋 鴨澤 新氏



浅草西参道商店街に店を構える土産店「浅草港屋」。日本酒やアクセサリ中心の品ぞろえで、客の多きが外国人という。同店がサービスを導入したのは昨年秋。外国人客の利便性向上が目的だ。

店主の鴨澤新さん(51)は「すでにクレジットカードは使えませんが、客の決済手段を増やすことで、より利用しやすい店舗にした」と導入動機を語る。「浅草は成田からも羽田からも便利なので、『帰国するため、これからすぐ空港に行く』『今日、日本に来たばかり』という外国人が多く来店する。そういう人たちは、日本円を持っていないことがあるため、小物などちょっとした買いものに外貨が使えるのは便利だ」と鴨澤さんは話している。

導入者間

サービスの概要などについて、同社外貨サービス営業部、片桐成憲担当マネージャーに聞いた。聞き手は本社編集部、大城登志和。

サービスの優位性は、類似のサービスといえ

ば、金融機関や両替商などの外貨両替サービスになる。当社のサービスは、外貨を持つ観光客が商品を購入する際、わずらわしい両替の手間を省ける。小物や飲食物、土産を買う際、外貨をそのまま使えると便利だ。中でもクレジットカード契約をしていない小規模店舗さまには最適といえる。地域全体で導入すれば、メディアが取り上げ「外国人にやさしい街」というイメージ向上につながる。

具体的運用の流れは、片桐 取り扱いは米ドルとユーロ。当社が月1回定めるレートに基づいて店舗がレートを自由に設定する。客から外貨を受け取り、つり銭は日本円で渡す。月1回当社が外貨を回収して日本円に換えて店舗に送金する。

片桐 導入事業者(店舗、宿泊施設など)の導入時と運用にかかる費用が「ゼロ」ということだ。事業者の経済的負担は全くなしている。日々の運用については、ノウハウを有する当社担当者が必要に応じてアドバイスを行う。

片桐 FX取引以外の実需層に向けた施策の一環だと考えている。このサービスをきっかけに、当社の知名度をさらに広げたい。

御社にとっての位置付けやメリットは、片桐 FX取引以外の実需層に向けた施策の一環だと考えている。このサービスをきっかけに、当社の知名度をさらに広げたい。

お問い合わせ マネパパートナーズ外貨サービス営業部 03(4540)3997



クレジットカードのブランドマークと並んで、外貨引き受けサービス告知

レート設定や円交換おまかせ・イメージ向上に寄与...

片桐 導入事業者(店舗、宿泊施設など)の導入時と運用にかかる費用が「ゼロ」ということだ。事業者の経済的負担は全くなしている。日々の運用については、ノウハウを有する当社担当者が必要に応じてアドバイスを行う。